

令和8年3月13日

保護者の皆様

船橋市立金杉台小学校
校長 竹森 正人

令和7年度 学校アンケート結果について（ご報告）

浅春の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、令和7年12月にお願いしました学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。回答を集約しましたので、ご報告いたします。

今後とも、よりよい学校運営を目指し教育活動の改善を図ってまいります。ご協力いただいた皆様には御礼申し上げます。

記

1 保護者アンケート結果について

（ A：十分できている B：おおむねできている
C：やや不十分である D：不十分である ）

	A+B	A	B	C	D	C+D
① 学校は、教育目標を学校だよりやホームページ等で伝えている。	97.4	44.7	52.7	2.6	0.0	2.6
② 学校行事は、保護者が参加しやすいように計画されている。	88.2	25.0	63.2	11.8	0.0	11.8
③ 学校は、安心して生活や学習ができる環境になっている。	97.4	32.9	64.5	2.6	0.0	2.6
④ 学校は、不審者対策や事故防止等の、安全確保に努めている。	86.9	25.0	61.9	11.8	1.3	13.1
⑤ 学校は、子供の怪我や病気等に、迅速かつ適切に対応している。	100.0	48.7	51.3	0.0	0.0	0.0
⑥ 学校は、キャリア教育を行っている。（例：町探検・外部人材活用・職業調べ・キャリアパスポート等）	93.4	40.8	52.6	6.6	0.0	6.6
⑦ 学校は、いじめ防止基本方針をホームページ等で公表し、いじめ防止への取組を行っている。	86.8	18.4	68.4	13.2	0.0	13.2
⑧ 学校は、アンケート調査を実施するなど、いじめの早期発見に努めている。	88.2	15.8	72.4	10.5	1.3	11.8

⑨ 学校は、いじめ防止に対して積極的に取り組んでいる。	84.2	14.5	69.7	14.5	1.3	15.8
⑩ 学校は、スクールカウンセラーに相談しやすい体制を整えている。	89.5	19.7	69.8	10.5	0.0	10.5
⑪ 学校は、スクールカウンセラーへの相談の仕方についてわかりやすく説明している。	86.9	28.9	58.0	11.8	1.3	13.1
⑫ 学校は、子供の体力づくりや健康に過ごすための努力をしている。	86.8	25.0	61.8	13.2	0.0	13.2
⑬ 学校は、わかりやすい授業の実践のために工夫をしている。	92.1	36.8	55.3	6.6	1.3	7.9
⑭ 学校は、保護者や地域の方に対して情報提供を行っている。(学校だより・学年だより・ホームページ)	96.1	44.7	51.3	3.9	0.0	3.9
⑮ 学校は、魅力ある学校づくりに努めている。	90.8	30.3	60.5	9.2	0.0	9.2
⑯ 学校は、学習活動にタブレット機器等を活用し情報活用能力を身につけるよう努めている。	94.7	38.2	56.6	5.3	0.0	5.3
⑰ 学校は、小学校1, 2年生において週20分を、3, 4, 5, 6年生は週45分の英語の授業を適切に行っている。(授業の1コマは45分)	94.7	42.1	52.6	5.3	0.0	5.3
⑱ お子様は、英語の授業に意欲的に参加している。	90.8	31.6	59.2	9.2	0.0	9.2
⑲ お子様は、授業の内容がわかる。	76.3	19.7	56.6	22.4	1.3	23.7
⑳ お子様は、自分で登校の準備をしている。	72.4	25.0	47.4	25.0	2.6	27.6
㉑ お子様は、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」等の言葉を使うことができる。	88.2	19.7	68.4	11.8	0.0	11.8
㉒ お子様は、努力することができる。	78.9	23.7	55.2	21.1	0.0	21.1

⑳ お子様は、悩みや困ったことを学校に相談できる。	82.9	11.8	71.1	17.1	0.0	17.1
㉑ 保護者は、悩みや困ったことを学校に相談できる。	76.7	30.3	60.5	7.9	1.3	23.3
㉒ ご家庭では、基本的な生活習慣の育成やしつけに努力している。	89.5	10.5	79.0	10.5	0.0	10.5
㉓ ご家庭では、お子様との会話等でコミュニケーションを図っている。	98.7	35.5	63.2	1.3	0.0	1.3
㉔ ご家庭では、お子様の感染症予防対策に気を配っている。	97.4	35.5	61.9	2.6	0.0	2.6
㉕ ご家庭では、お子様の家庭学習の習慣づけをしている。	61.8	10.5	51.3	35.5	2.6	38.1
㉖ 地域・保護者の方による学習支援体制が充実している。	64.5	6.6	57.9	32.9	2.6	35.5
㉗ 地域・保護者の方による子供の見守り活動が充実している。	90.8	15.8	75.0	9.2	0.0	9.2

2 結果の分析と考察

(1) 集計結果の経年分析

評価が高い項目 (A+B) について

- ・「お子様は英語の授業に意欲的に参加している」: R6 の 64.4% から 90.8% へと劇的に改善されました。
- ・「学校は安心して生活や学習ができる環境になっている」: R6 の 88.9% から 97.4% へ向上しました。
- ・「学校は、子供の怪我や病気等に、迅速かつ適切に対応している」: R7 では 100% (A+B) の極めて高い評価を得ています。

評価が低い項目 (C+D) について

- ・「お子様は、自分で登校の準備をしている」: R6 の 84.4% から 72.4% へと低下しており、自立面での課題が見られます。
- ・「お子様は、授業の内容がわかる」: R7 で 76.3% と、学校側の「授業の工夫 (92.1%) 」という評価と乖離があります。
- ・「ご家庭では、お子様の家庭学習の習慣づけをしている」: R6 の 58.8% から 61.8% へ微増しましたが、依然として全項目中で最低水準です。

3 学校経営ビジョンの視点からの分析と改善・考察

R7 学校経営ビジョン「かしこく 心豊かで たくましい子の育成 ～Enjoy Learning!」に基づき分析します。

- ・「期待感を抱いて登校し、満足して下校できる学校」の実現:

児童の「学校の楽しさ」が9割を超えたことは、ビジョンの根幹が達成されつつあることを示しています。特に保護者コメントの「毎日楽しそうに通っている」「学校が大好きだと言っている」という声より、情緒的な安定が学習意欲に直結します。

- ・改善点への繋げ:

ビジョンに掲げる「読書いっぱい」「あいさついっぱい」の数値が芳しくない点は、活動が形式化している懸念を示唆しています。今後は「量」の追求から、児童が「自ら進んで(主体性)」行いたくなるような、体験活動と連動したアプローチ(ビジョンにある「言語活動と体験活動の充実」)への転換が必要と考えます。

4 自由記述コメントの数値的・多角的分析

保護者と教員の自由コメントから見える現状を、肯定的・否定的両面から分析します。

【肯定的側面：信頼と満足度の醸成】

学校運営への信頼: コメントの多くに「先生方が一人ひとりをよく見ている」「少人数ならではの手厚い指導に感謝している」という記述があります。これは保護者アンケートの「学校は安心して生活できる(97.4%)」という極めて高い数値を裏付けています。

体験活動の評価: 「金杉台タイム」や「地域交流」への好意的な意見が多く、ビジョンにある「地域とともに歩む学校」が保護者の実感として定着しています。

【課題と多角的視点：期待の裏返し】

ICT活用のギャップ: 教員の「タブレット活用(91.7%)」に対し、保護者からは「目が悪くなる」「紙での学習も大切にしてほしい」という声があります。保護者アンケートの「学習内容の定着(76.3%)」が伸び悩んでいる要因の一つとして、デジタル活用の目的や成果が家庭に十分に伝わっていない可能性(情報発信の「質」の課題)が考えられます。

行事と負担: 肯定的コメントとして「行事が工夫されていて楽しい」とある一方で、「振替休日の多さが仕事に響く」という現実的な悩みも吐露されています。保護者アンケートの「行事への参加しやすさ(88.2%)」の内訳がB評価(どちらかといえば)中心であることは、満足度は高いものの、参加には相応の調整コストを強いている状況を示しています。

5 総括

全体として、学校経営ビジョンに掲げる「児童の満足度」と「安心感」は着実に高まっており、保護者との信頼関係も強固です。今後は、高まった「楽しさ」を基盤に、低迷している「読書」や「家庭学習」などの習慣形成、および「ICT活用の質的理解」を深めるための、家庭とのより密な対話が鍵となると考えます。

貴重なご意見をありがとうございました。

今後も、何かお気づきの点があれば、ご連絡ください。

問合せ

教 頭：村田 伸子

電 話：047-448-3876